

マテリアリティ進捗報告

2023年度

日本ハム株式会社

2024年6月

マテリアリティ進捗報告（2023年度）

たんばく質の安定調達・供給



| 施策 | 目標 | 2023年度実績 |
|--|--|---|
| サステナブル調達の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度までに重要な一次サプライヤー※1への方針周知とSAQ※2実施率100% ・2030年度までに重要な一次サプライヤーへの方針周知とSAQ実施率100%および重要な二次サプライヤーへの方針周知とSAQ実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・重要な一次サプライヤー、51社に対してSAQを実施し、100%返答を回収。 |
| アニマルウェルフェアに配慮した取り組みの推進 >アニマルウェルフェアポリシーガイドラインはこちら | <ul style="list-style-type: none"> ・国内全農場（豚）※3の妊娠ストール廃止 2023年度までに実施率9.5%、 2030年度までに実施率100.0% ・2023年度までに国内全処理場（牛・豚）※3の係留所への飲水設備の設置 ・2024年までに国内全農場・全処理場※3への環境品質カメラの設置 | <ul style="list-style-type: none"> ・国内全農場（豚）の妊娠ストールの廃止 実施率：9.5% ・国内全処理場（牛・豚）内の係留所への飲水設備の設置率 牛・豚とも：100.0% ・国内全農場・全処理場への環境品質カメラ設置率 牛（処理場）・豚（処理場・農場）：100.0% 鶏：94.0% |
| 植物由来のたんばく質商品の拡充拡販 | <ul style="list-style-type: none"> ・2030年度までに出荷金額100億円 | <ul style="list-style-type: none"> ・出荷金額実績：20.4億円（昨比309.0%） >主な植物由来商品「ナチュミートシリーズ」のブランドサイトはこちら |
| 第三者認証の取得推進 (FSSC22000、SQF、BRC、JFSなど) | - | <ul style="list-style-type: none"> ・第三者認証取得数：119件 >取得認証の詳細はこちら |
| 専門技術認定をはじめ研修を通じた人財育成 | 2030年度までに累計 ・e-ラーニング受講者数 : 67,000名 ・基礎技術研修修了者数 : 2,400名 ・専門認定試験合格者数 : 90名 ・食品表示検定（中級）合格者数：760名 ・食品表示検定（上級）合格者数：90名 | 2023年度までの累計実績 ・e-ラーニング受講者数 : 45,997名 ・基礎技術研修修了者数 : 1,968名 ・専門認定試験合格者数 : 64名 ・食品表示検定（中級）合格者数：655名 ・食品表示検定（上級）合格者数：56名 |

※1 国内外の取引金額量大きいサプライヤー、かつ代替不可能な原材料、包装・資材、家畜、飼料などを納入いただくサプライヤー

※2 自己評価シート (Self-Assessment Questionnaire)

※3 当社グループが資本を過半数保有する企業が対象

食の多様化と健康への対応



| 施策 | 目標 | 2023年度実績 |
|-----------------------|------------------------|--|
| 食物アレルギー関連商品の拡充および啓発 | ・2030年度までに出荷金額40億円 | ・出荷金額実績：14億円（昨比110.2%） >食物アレルギーケア総合プラットフォーム「Table for All」はこちら |
| 認知機能を改善する新たな素材の研究と商品化 | ・2026年度までに年間供給量300万食相当 | ・イミダ素材、イミダ商品（IMIDEA）の提供：194万食相当 |
| 健康に寄与する商品の開発 | — | ・出荷金額実績：106億円（昨比104.0%） ・健康志向に対応した商品数：97アイテム（昨差△18） |

持続可能な地球環境への貢献



| 施策 | 目標 | 2023年度実績 |
|-------------------|---|------------------------|
| 化石燃料由来のCO2排出量削減 | ・国内は2030年度までに2013年度比で46%以上削減 | ・化石燃料由来のCO2排出量：21.3%削減 |
| | ・海外は2030年度までに2021年度比で24%以上削減 | ・化石燃料由来のCO2排出量：8.4%削減 |
| 用水使用量削減 ※1 | ・国内は2030年度までに2019年度比で製造数量当たりの原単位5%削減 | ・用水原単位使用量：0.7%削減 |
| | ・海外は2030年度までに2021年度比で製造数量当たりの原単位5%削減 | ・用水原単位使用量：2.4%削減 |
| 国内の廃棄物排出量削減 ※2 | ・2030年度までに2019年度比で製造数量当たりの原単位5%削減 | ・原単位排出量：9.5%削減 |
| 国内の廃棄物排出量リサイクル率向上 | ・2030年度までに92%以上 | ・廃棄物排出量リサイクル率：92.2% |
| 認証パーム油への切り替え | ・2030年度までにRSPO認証パーム油使用率100%（ブック アンド クレーム含む） | ・0% |

※1 当社グループの国内・海外拠点における商品製造工場と食肉の処理・加工工場が対象

※2 当社グループの国内拠点における商品製造工場と食肉の処理・加工工場が対象



| 施策 | 目標 | 2023年度実績 |
|--|----|--|
| スポーツを通じた地域共創の活動の推進 (北海道新球場、スポーツ・食育教室など) >北海道ボールパークFビレッジのサイトはこちら | — | 実施件数：72件 社内参加人数：500人 活動経費：100百万円 |
| 文化的活動を含めた地域貢献活動の推進 (地域イベントへの協力や清掃活動など) | — | 実施件数：324件 社内参加人数：6,400人 活動経費：10百万円 |
| 食を通じた社会福祉活動の推進 (フードバンクや子ども食堂への食材の提供など) | — | 実施件数：199件 社内参加人数：800人 活動経費：10百万円 |
| 食育などを通じた次世代育成の支援 (出前授業、キャリア教育支援など) | — | 実施件数：137件 社内参加人数：2,400人 活動経費：84百万円 |

従業員の成長と多様性の尊重



| 施策 | 目標 | 2023年度実績 |
|---------------|--|---|
| 仕事に対するやり甲斐の支援 | ・2030年度までに従業員サーベイ好意的回答率80%以上 ※1 | ・好意的回答：66.7% |
| 挑戦できる組織風土の醸成 | ・2030年度までに従業員サーベイ好意的回答率80%以上 ※1 | ・好意的回答：66.5% |
| 多様な人材の活躍推進 | ・2030年度までにキャリア採用比率15%以上 ※1 | ・キャリア採用比率：8.9% |
| 女性活躍推進 | ・2030年度までに女性管理職比率20%以上 ※1 ・2030年度までに女性監督職以上比率35%以上 ※1 | ・女性管理職比率：10.7% ・女性監督職比率：24.1% |
| 障がい者雇用推進 | ・2023年度までに障がい者雇用率2.3%以上 ※1,2 | ・障がい者雇用率：2.6% |
| 総労働時間の削減 | ・2030年度までに総労働時間1,870時間以内 ※1 ・2030年度までに時間外労働時間200時間以内 ※1 | ・総労働時間：1,968時間 ・時間外労働時間：225時間 |
| こころとからだの健康 | ・2030年度までに健康診断再検査実施率100% ※1 ・2030年度までに喫煙率12%以下 ※1 ・2023年度までにストレスチェック受検率100% ※1 | ・健康診断再検査実施率：83.5% ・喫煙率：25.6% ・ストレスチェック受検率：97.8% |

※1 対象：日本ハム（株）

※2 法改正に伴い、目標を随時変更予定